

事業所名

わくわく子供ひろば

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

12月

16日

法人（事業所）理念		会社の力を善用し、お子様からお年寄りまで健康で、活気のある地域社会を作る。							
支援方針		日常生活における基本的動作及び知識技能を取得し、並びに集団生活に適応することができるように、適切且つ効果的な指導訓練を行います。							
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
		支援内容							
本人支援	健康・生活	支援方針：健康状態の維持と改善に向け生活のリズムや生活習慣の形成と基本的生活スキルの習得ができるよう活動や関わりの中で支援を行う。 プログラム：健康状態の確認、観察・専門職の関わり（咀嚼・嚥下・姿勢保持・自助具等）・食育支援（野菜作りからクッキング、調理器具の正しい使い方）・基本的技能（清潔保持・食事・衣類の着脱・排泄の仕方の習得（トイレトレーニング））のための関わり・生活習慣としてスケジュールを意識しながら活動へ取り組める支援など							
	運動・感覚	支援方針：姿勢と運動、動作の向上と補助的手段の活用、児童一人ひとりが保有する感覚の総合的な活用を支援する。基本的生活スキルを獲得し運動・動作の向上を目指す。 プログラム：体力測定・日常生活、社会生活に必要な室内での活動と室外での活動・五感の支援として音楽活動・感覚遊び、粗大運動、食育支援、ビジョントレーニング・ラジオ体操・サーキットトレーニング・手先のトレーニング・理学療法士による姿勢や粗大運動の評価・作業療法士による自作療育グッズを用いた巧緻トレーニング、コーディネーショントレーニング、日常生活動作獲得を目標とした療育プログラムなど							
	認知・行動	支援方針：認知機能の発達と行動の習得に向けた支援を行い、空間や時間、数等の概念形成の習得、対象や外部環境の適切な認知と行動の習得のために支援を行う。 プログラム：脳バランサー・一人ひとりにあった情報理解を支援。（絵カードやタイムタイマー）・おやつから時間からお金の使い方を学び公共の場での買い物訓練・音楽療育・対人との適切な関わり方の習得・専門職員の関わり・ソーシャルスキルトレーニングなど							
	言語コミュニケーション	支援方針：適切な言語の形成と活用、受容や表出を身につけられる支援を行い、コミュニケーションの基本的な能力向上と児童にあった意思伝達方法の手段の選択や活用を支援の中で行う。言語の受容・表出を促し楽しくコミュニケーション手段の獲得を行う。 プログラム：挨拶・ソーシャルスキルトレーニング（SST）・個別や集団の中での気持ちを伝える適切なコミュニケーション能力の習得・言語聴覚士による構音訓練、絵カード使用、TEACCH、聴覚に障害がある方に音声言語をはじめ多様なコミュニケーション手段の提供、支援など							
	人間関係社会性	支援方針：他者との関わり（人間関係）の形成と自己理解、行動の調整、仲間づくりと集団への参加や興味を広げる支援を行う。自尊心を高め楽しくお友達と集団活動へ参加できるよう支援を行う。 プログラム：ルール遊び・見立て遊び、ごっこ遊び、一人遊びから共同遊びでの他者との関わり、体験を通して行う・ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通じ自己理解や感情のコントロールについて習得・地域社会との交流・外部講師（手話教室・情報モラル教室・農業体験など）・社会的スキル向上（社会生活、対人関係の課題の抽出と支援・心理専門職員によるSST・認知行動療法）							
家族支援		保護者様へ生活状況や困り事等を伺いながら、社会資源の確認や助言等行う。利用児童を含めた兄弟・姉妹の支援等について必要な情報を提案等を行う。			移行支援		年代に伴って変化する生活段階に合わせた支援。地域と繋がりながら日常生活を送ることができるよう地域との交流、社会生活に必要な支援を行う。		
地域支援・地域連携		他事業所との交流、保育施設や学校との連携、共有、提案等行う。			職員の質の向上		内部研修・動画研修・外部研修・外部講師の勉強会などへの参加 強度行動障害支援養成研修・児童発達支援管理責任者等の資格取得の推進、サポートあり		
主な行事等		近隣施設・公園へのおでかけ 法人内の合同行事・季節の行事 外部講師による勉強会等							